

発表スライド・原稿のループリック

組 番号 名前

基本的な項目 ☐ 表紙（テーマ、学年、組、班、氏名） ☐ 目的・仮説 ☐ 方法 ☐ 結果 ☐ 考察 ☐ 結論 ☐ 参考文献					
項目	S基準	A基準	B基準	C基準	D基準
様式		上記の項目について、7項目全て立てている。	上記の項目のうち、6項目立てている。	上記について、5項目立てている。	基準に満たない
目的と仮説		研究や取組の意義・必要性を踏まえて、実験の目的を明確にしている。科学的な理論やモデルなどを根拠として、論理的に仮説を立てることができている。	実験の目的が明確に示されている。仮説の根拠が適切でないが、論理的に仮説を立てることができている。	目的が示されている。仮説の根拠が十分でないまま、仮説を立てている。	基準に満たない
再現性		方法において、必要な装置や準備物など、詳細な手順や操作図などの記述があり、追実験が十分に可能である。また実験の注意点も記述されており、再現性が高い操作手順が示されている。	方法において、必要な装置や準備物などが示されており、試料の分量などが記されている。操作手順が詳細ではないものの追実験は可能である。	試料の分量や濃度などの記述が十分でなく、また操作手順も詳細ではない。追実験が困難であり、同じ結果を得ることが難しい。	基準に満たない
結果と処理		結論の裏づけとなる十分な定量的もしくは定性的な生データの記述がある。適切かつ十分なデータ処理がされており、計算式やグラフ、表などの描写にも問題がない。	結論の裏づけとなりうる定量的もしくは定性的な生データの記述がある。妥当なデータ処理がされているが、計算式やグラフ、表などの描写に不備がある。	結論の裏づけとなりうる関連性のある生データの記述がある。基本的なデータ処理がされているが、不正確または不十分な内容がみられる。	基準に満たない
表記		ほぼ全ての箇所において、有効数字の桁数、軸ラベル、単位やスケール、用語など科学的に正しい表記がなされている。また、見やすいレポート作りがなされている。	グラフや結果などにおいて、軸ラベル、有効数字の桁数、単位、用語などの一部に不適切な箇所がある。	グラフや結果などにおいて、軸ラベル、有効数字や単位、用語などが適切でない箇所がある。	基準に満たない
考察		得られた結果について、グラフや表、式、物質の性質、先行研究などを比較・対比して分析し、仮説の妥当性の考察や推論をはたらかせるなど、深く考察している。また実験の課題を解決するための、温度設定や試料の工夫など、実験の改善点を示している。	得られた結果について、分析を進め、自分の考えを述べている。また実験の課題について述べている。	得られた結果について、気づいたことを列挙している。	基準に満たない
結論		提示されたデータ等によって、十分に裏づけられた結論が詳しく述べられている。	提示されたデータ等によって、裏づけられた結論が述べられている。	データ等による裏づけがないまま、結論が述べられている。もしくは目的と結論が一致していない。	基準に満たない

作成したスライド・レポート等について、上記のループリック表に基づいて自己評価を行ってから提出すること。

各観点について、A～Dの基準のいずれかに○で囲むこと。

S：3点+2 A：3点 B：2点 C：1点 D：0点

各観点の総計を右の表に記すこと。

自己評価	
教員評価	

究理1チャンネルのファイル中にある下記の

「スライドの間違い探し」や
「良いデザイン・悪いデザイン」など

を参照して、発表スライドと原稿を作成してください。